

カフェレター



2020年9月1日発行

発行：たかみや人権福祉センター

☎ 57-1330

今年は、全国的に「静かなお盆」と言われましたが、皆様、いかがお過ごしでしたか？
高速道路の渋滞も、新幹線の混み具合も、例年とは随分違っていたようで、帰省を自粛した人は多かったようですね。

それにしても大変な暑さでしたね。命が危ないと言われたので、一晩中エアコンをつけました。
古いエアコンなので、電気代の請求が恐怖です。

紫外線対策を軽く見ていたツケが……こんがり、汚らしいきつね色になってしまい、今後の色素沈着と皮膚の衰えが恐ろしい夏の終わりです。

コロナの猛威はとどまることなく、秋・冬に向かい、これからますます感染者数が増えていくのでしょうか。春ごろ、コロナと対峙し始めたころには、今までと違うことに随分戸惑いました。

あれもできない、これもできないと、気落ちすることが多かったです。しかし、私たちは、徐々に、この環境での生活を受け入れられるようになってきました。工夫をしたり、新しいことを見つけ出したり、決して悪い事ばかりではないようです。物事は捉え方次第ですね。

「やめるんじゃなくて、いい方向に変えていく」 高校生が言った言葉です。

あきらめではなく、新しい未来を創っていく感じで、気持ちいいですね！

作ってみました！

すっかり日常の必需品となったマスク。食事をするときの一時置きに、予備のマスクの持ち歩きに、マスクケースって、必要度のランクが上がってきましたよね。皆さんも色々工夫をされておられることと思いますが、先日、このようなマスクケースをご紹介いただきました。これは、クリアファイルで作られています。とても簡単で、児童クラブの子ども達もみんな手作りして持っているそうです。ステキな写真や絵柄のクリアファイルで作ると、楽しそうですね。

作ってみようと思われる方は、型紙を差し上げますので、お声がけください。



旅行先で買われた
ご当地クリアファイルだそうです。
クールですね！



まちかどカフェ スタッフの紹介

まちかどカフェは、たくさんの心優しいスタッフに支えられています。

アロハ！ 村本 美奈です

人権多文化共生推進課で通訳や翻訳をして 2 年目に入りました。私は縁があり、ハワイから安芸高田市に 3 年前に引っ越してきました。ハワイでは、職場からワイキキビーチの青い海を眺めながらの生活でしたので、ここに来て山しかないのに最初は戸惑いましたが今は四季折々に変わっていく山の姿に癒されています。



レイはハワイの人々にとって大切な文化の一つです。ハワイを訪れる旅行者を歓迎するために首からかけるだけではなく、「祝福」や「感謝」など、贈る相手への思いを込めた愛情表現として人々の日常に深く根付いています。

レイの習慣は、ハワイに移り住んできたポリネシア人とともに海を渡ってきたと伝えられ、歴史は紀元前までさかのぼるとされています。魔除けや幸運祈願、神々への信仰、美しさの表現、また権力の証として古代人によって身につけられていました。伝統文化のフラでは様々な植物や動物に宿る神々への祈りを捧げる際にもレイは用いられています。



花や葉だけではなく、貝殻、木の实、鳥の羽、動物の骨や歯でもレイを作っていました。現代では造花、キャンディー、お金、紙、布製リボン、毛糸などいろんな素材で作られています。

レイはいつ、どんな機会にでもかけてもいいのです。ハワイの高校や大学の卒業式では顔が見えないぐらいにレイを頂くのがとても自慢になります。頂いたレイを相手の前で外すことや輪になったレイを妊婦さんに贈るのはダメとされています。胎児のへその緒が絡まると信じられているので輪にしない状態のレイを贈ります。



伝統的な場面だけでなく、ただ単純に誰かを思い、気持ちを込めて贈られるのがハワイのレイです。